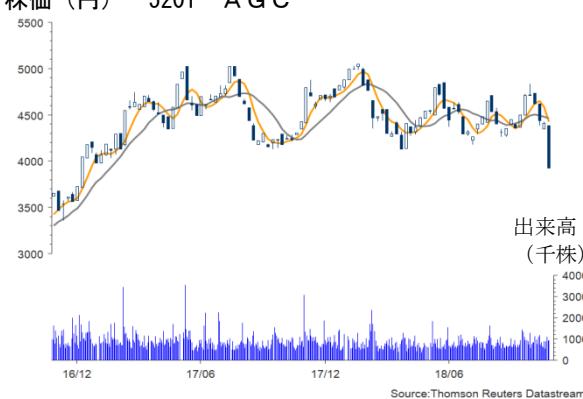
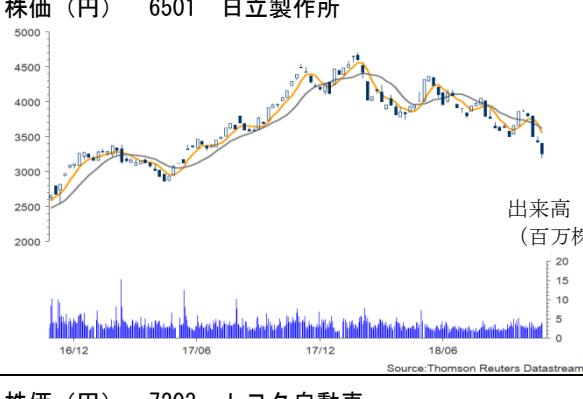
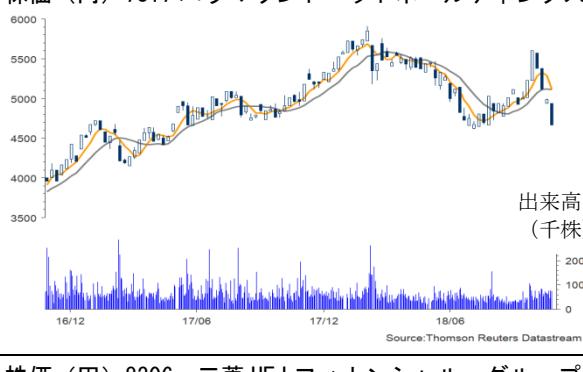
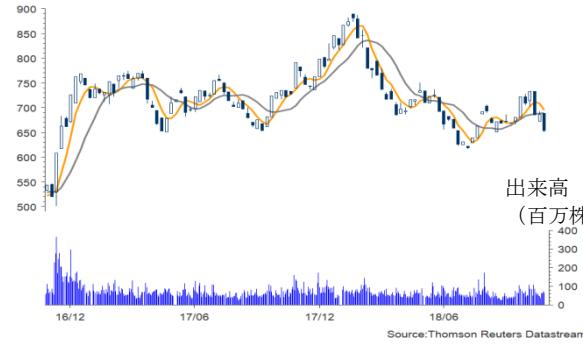


あんどうウォッチ 10

銘柄	チャート	ポイント
大林組 (1802)	<p>株価 (円) 1802 大林組</p> <p>出来高 (百万株)</p> <p>Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇ゼネコン大手で規模拡大を収益改善の源泉とし、営業利益水準はトップクラスに位置する。新領域事業では、再生可能エネルギー（自然エネルギー発電）、PPP（アライアンス等）、農業（人工光型植物工場事業等）などを推進し、収益基盤の多様化を図る。
セブン&アイ HLDG (3382)	<p>株価 (円) 3382 セブン&アイ HLDG</p> <p>出来高 (百万株)</p> <p>Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇国内流通大手でセブン・イレブンを傘下に主力のコンビニエンスストア事業を運営するほか、イトーヨーカ堂、そごう・西武、セブン銀行等の複数事業を手掛ける。国内外のコンビニ事業での圧倒的な地位の確立に向け、構造改革を推進し、収益性改善を目指す。
東レ (3402)	<p>株価 (円) 3402 東レ</p> <p>出来高 (百万株)</p> <p>Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇有機合成化学と高分子化学、バイオテクノロジーというコア技術を発展させながら、繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング、ライフサイエンスの5事業を、世界26ヶ国・地域で展開するグローバル企業である。
三井化学 (4183)	<p>株価 (円) 4183 三井化学</p> <p>出来高 (千株)</p> <p>Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇総合化学メーカー大手で、高い技術力と幅広い分野の顧客基盤、グローバル体制などを強みに、モビリティ、ヘルスケア、フード＆パッケージングという成長3領域の持続的拡大と、基盤素材における安定的な収益確保に加えて、次世代事業の育成を図っている。
花王 (4452)	<p>株価 (千円) 4452 花王</p> <p>出来高 (千株)</p> <p>Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇化粧品・トイレタリー大手で、生活用品を中心に製品の研究開発からマーケティング、生産・物流、販売まで自社グループで行うことで、情報のスピードや質、量ともに他社にはない強みが生まれる体制をとる。海外ではアジア市場での販売が好調に推移。

※株価、予想PER、予想配当利回りは平成30年10月26日時点の会社公表データ、終値を基に計算しています。

あんどうウォッチ 10

銘柄	チャート	ポイント
AGC <u>(旧:旭硝子)</u> (5201)	 <p>株価（円） 5201 AGC 出来高（千株） Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇ガラス（建築用・自動車用）と化学、電子の3事業を日本・アジア、欧州、米州の3極体制をベースに30超の国と地域でグローバル展開。長期経営戦略ではM&Aによる成長投資も含めてガラス、化学品、ディスプレイ、セラミックスといった長期安定的な収益基盤となるコア事業を強化する。
日立製作所 (6501)	 <p>株価（円） 6501 日立製作所 出来高（百万株） Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇日立グループを形成する国内最大の総合電機メーカーで情報通信システム技術と社会インフラ技術の両方を有し、多様な事業展開ができる点に強みを持つ。2016年に社会イノベーションコアとなるべく開発したIoTプラットフォーム「ルマーダ」の提供を開始。
トヨタ自動車 (7203)	 <p>株価（円） 7203 トヨタ自動車 出来高（百万株） Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇世界有数の自動車メーカーで、HVやPHVなど環境技術で先行。AI技術や自動運転技術等の普及・展開を加速。TNGAの取組み推進で商品開発力向上や原価低減等が期待でき更なる成長を見込む。2014年、市販車として世界初の燃料電池車「ミライ」発売。
パラマウントベッドホールディングス (7817)	 <p>株価（円） 7817 パラマウントベッドホールディングス 出来高（千株） Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇医療・介護用ベッドの販売で国内シェア約7割（同社推計）を誇る。主な事業として、施設向け事業と在宅向け事業、グローバル事業の3事業を展開。強みは長年培ってきた経験やノウハウ、及び、実績を背景にマーケティング力やシェア、技術力が高いことなど。
三菱UFJフィナンシャル・グループ (8306)	 <p>株価（円） 8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ 出来高（百万株） Source: Thomson Reuters Datastream</p>	◇国内最大、そして世界有数の総合金融グループで、様々な金融分野で実力を持つ企業で構成されている点が強み。圧倒的な顧客基盤を背景に、預金や貸出の残高は民間金融機関国内1位で、世界でもトップクラスを誇る。国内メガバンクのなかでも海外展開で先行。

※株価、予想PER、予想配当利回りは平成30年10月26日時点の会社公表データ、終値を基に計算しています。

～株式取引のご案内～

■ 安藤証券の本支店において、株式のお取引をされる場合にお支払いただく委託手数料は以下の通りです。

約定代金	売買委託手数料（税抜）		
50 万円以下の場合	約定代金の	1. 1058%	
50 万円超 100 万円以下の場合	約定代金の	1. 0767%	+ 145 円
100 万円超 300 万円以下の場合	約定代金の	0. 8148%	+ 2, 764 円
300 万円超 500 万円以下の場合	約定代金の	0. 7663%	+ 4, 219 円
500 万円超 1, 000 万円以下の場合	約定代金の	0. 6402%	+ 10, 524 円
1, 000 万円超 3, 000 万円以下の場合	約定代金の	0. 5044%	+ 24, 104 円
3, 000 万円超 5, 000 万円以下の場合	約定代金の	0. 2522%	+ 99, 764 円
5, 000 万円超 1 億円以下の場合	約定代金の	0. 0873%	+ 182, 214 円
1 億円超の場合	約定代金の	0. 0776%	+ 191, 914 円

※ 上記テーブルで計算された手数料金額に拘らず、最低手数料を 2, 500 円（税抜）とします。

※ 円位未満の端数が生じた場合は端数部分を切捨てます。

■ 株式取引は、株価の変動により、投資元本を割り込む事があります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。

■ 株式のお取引にあたっては、金融商品取引法に定める「契約締結前交付書面」をお渡しいたしますのでよくご確認の上、ご不明な点は当社営業員にお問い合わせください。

金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第 1 号

安藤証券株式会社

加入協会／日本証券業協会
本店／〒460-8619 愛知県名古屋市中区錦 3-23-21